



CDデビュー 20周年記念

# 岡本知高

→ Concerto del Sopranista ←  
2023-2024



ソプラニスタ「奇跡の歌声」  
その声は聴くものすべてを  
美しく揺さぶる...

公演日程 2024年

9月22日(日) 3:00p.m. ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)

入場料金: S席¥6,500 A席¥6,000 B席¥5,500(税込)【全席指定】

お問い合わせ

MIN-ONインフォメーションセンター 03(3226)9999

チケットのお求めは

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード: 270-188]  
 ローソンチケット ・ローソン・ミニストップ店頭Loppi [Lコード: 32003]  
 ・WEB <https://l-tike.com/>  
 ホクト文化ホール ☎026(226)0008  
 アベレコード ☎026(232)2919  
 イベントナガノ <https://www.event-nagano.net/>

※未就学児童のご入場は固くお断りいたします。

主催: 長野朝日放送、MIN-ON 制作: (株)ホリプロ 制作協力: ハンプトンジャパン(株)





「奇跡の歌声」  
ソプラニスタ 岡本知高  
クラシックから  
日本の名曲までを披露！



写真：山本絢子  
衣装：友好まり子 / 萩野 緑  
ヘアメイク：中村潤 (Shiseido)

1976年生まれ 高知県宿毛市出身  
ソプラニスタ(男性ソプラノ歌手)

岡本の場合は変声後も強靱なドラマティック・ソプラノの音域が自然に維持され続けている世界的にも大変希有な「天性の男性ソプラノ歌手」である。国立音楽大学を卒業後、フランスのプーランク音楽院を首席で修了。心の深淵に温かく響く唯一無二の歌声は「奇跡の歌声」と称され、個性的なキャラクターとコスチュームも併せてクラシック界にとどまらず各方面からの呼び声も高い。そのレパートリーは幅広く、宗教曲、オペラ、クロスオーバー、日本の唱歌やポップスと多岐にわたり、2006年より担当し続けているフジテレビフィギュアスケート中継テーマ曲「ボレロ」ではまさにその真骨頂を聴くことが出来る。また、大学時代よりライフワークとして取り組んでいる全国各地の学校訪問コンサートは年間数十公演に及び(※コロナ禍以前)子供達とのふれあい活動にも尽力している。

株式会社ホリプロ所属。

- 2014年 『ソチオリンピック日本選手団結団式』にて国歌独唱。
- 2016年 アメリカ・ニューヨークのデビット・H・コーク・シアターにてブロードウェイミュージカル『シカゴ』宝塚歌劇 OG バージョンに出演。
- 2019年 『世界フィギュアスケート選手権 2019』にて『Boléro IV ~ New Breath ~』を生パフォーマンス、国歌独唱。
- 2021年 『東京 2020 オリンピック閉会式』オリンピック賛歌独唱。
- 2022年 『東京ヤクルトスワローズ開幕戦』にて国歌独唱。
- 2023年 『世界フィギュアスケート選手権 2023』にて国歌独唱。



ソプラニスタ	ピアニスト	キーボーディスト	パーカッショニスト
岡本知高	飯田俊明	米田直之	新村泰文

プログラム  
●切手のないおくりもの  
●World in union  
他  
※やむを得ず曲目が変更となる場合がございます。予めご了承下さい。



**飯田 俊明**  
Toshiaki Iida  
ピアニスト

PTNA デュオ特級最優秀賞受賞。その後クラシカルクロスオーバーを軸に活動。岡本知高の他、池田直樹、柿澤勇人、田代万里生、中島啓江、平原綾香、ミネハハや劇団四季、宝塚歌劇団、二期会などの多彩なヴォーカリストをピアノ、作編曲の両面からサポート。CD、TVの他、六本木ヒルズ時報、ゲーム、愛知万博、安藤美姫アイスショーなどに作品提供。朗読コラボも多く、山根基世、進藤晶子、松平定知らアナウンサーや、中村獅童、二木てるみらと共演。最近の活動はホリプロ60周年オールスターミュージカルCD、伍代夏子歌謡劇音楽、NHKドキュメンタリー「沁みる夜汽車」、NHKドラマ「生きてふたたび」音楽など。

【Website】 <http://toshiaki-iida.com/>



**米田 直之**  
Naoyuki Yoneda  
キーボーディスト

高校在学中よりジャズ理論を学び、大学卒業後、ロンドンへ音楽留学。1999年、笹路正徳にデモテープを認められ、師事。サウンドプロデューサー / キーボーディストとして、ジャズ、カントリー、ロック、フォーク、民族音楽、オペラ、アイドル、EDM、R&B、演歌など幅広い音楽性を発揮。アレンジ、バンドサポート、音楽監督などで多岐に渡るアーティストと一緒に楽曲やステージを作り上げている。映像音楽制作においては、ジャズ / ラテン / ミニマルをベースとしたスタイリッシュな音像が特徴的。多種多様なプレイヤー陣との交流も深く、ジャンルレスな制作スタイルで活動。

【Website】 <https://linktr.ee/naoyukiyoneda>



**新村 泰文**  
Hirofumi Shinmura  
パーカッショニスト

1977年北海道出身。和太鼓奏者の父に太鼓を学び、クラシックを通じ西洋打楽器器を習得。ドラムを猪俣猛に師事。多種多様な打楽器を駆使したジャンルレスな演奏で、池田綾子、石井竜也、遠藤響子、岡本知高、島田歌穂、田代万里生、冬野ユミ、濱田めぐみ、林部智史、平原綾香、藤澤ノリマサ、村井秀清、渡辺美里、など、アルバムレコーディング、ツアー、ライブ、コンサート映像作品に参加している。

『Neighborhoods』メンバー。2022年1stアルバム『esperanto』をリリース。

【Website】 <http://shinmura-drums.com/>